【放牧・公共牧場】（山口県岩国市　らかん高原放牧場）

〇昭和47年度から団体営草地開発事業を活用し、標高1，109mの羅漢山南山麓に位置する未利用原野を生産性の高い牧草地に造成。昭和53年度に「本郷村営らかん高原放牧場」として、肉用牛の預託育成をスタート。

〇昭和57年度から平成元年度まで、団体営草地畜産基盤総合整備事業等を活用して、畜舎等施設や牧場管理道の整備を行うなど、預託牧場の機能強化を図り、平成17年度に市町村合併により岩国市の所有・管理に移行。 旧本郷村の肉用牛農家からの預託を中心に、30年以上経過した現在も地域の肉用牛生産のための機能を維持。
錦町、美和町など周辺地域農家からの傷病時等一時預かりにも対応しており、地域の肉用牛農家を支える役割を担う。

〇隣接するキャンプ場など、らかん高原に訪れた者が放牧風景を楽しめる場にもなっている。

＜牧場概要＞
【開設】昭和47年（経過49年）
【所有主体】岩国市
【管理主体】岩国市
【労働力】職員1名、会計年度任用職員2名
【受入可能頭数】肉用牛50頭
【利用農家戸数】6戸（R3.7.1）
【預託牛実績】（R3.7.1）
ほ育牛10頭、育成牛8頭
成牛29頭うち放牧9頭
【放牧期間】5/9～11/24（195日間）
【預託料金】岩国市らかん高原放牧場条例による
【草地面積】採草地2ha
採草放牧兼用地4ha
（放牧地31ha）
（野草放牧地2ha）

【課題】
牧草地には、ギシギシやチカラシバ等の強害雑草が侵入、繁茂し、裸地化も見られる。
開設当初の牧草放牧地及び野草放牧地33haは雑灌木が繁茂し、藪化。
草地管理に係る労働力不足もあり、近年は購入飼料依存により飼料費が嵩む要因に。

【対策】
令和元年からは地元産の稲WCSを購入し、耕畜連携を図り、飼料費削減に取り組む。
放牧頭数増頭や放牧期間延長ができるよう、放牧草地の改良を検討。放牧期の預託料収入の増加や飼料費削減が期待できるため、労働力の確保を含め、効果的な草地改良手法を模索中。

岩国市	H25	R1	R4
肉用牛農家戸数（戸）	51	41	39
肉用牛飼養頭数（頭）	2,560	2,386	2,107
うち繁殖雌牛頭数（頭）	417	485	429

（ha）

岩国市の飼料作物収穫面積	R３	R４
稲ＷＣＳ	21.9	17.8
ｲﾀﾘｱﾝﾗｲｸﾞﾗｽ	9.8	16.3
永年牧草	64.3	66.1
稲わら※	136.7※	255.2※

※飼料仕向け量（トン）


らかん高原放牧場の牛舎と放牧草地


放牧の様子（11月撮影）


牛舎内の様子（築30年以上だが綺麗に管理）


牛舎2階の飼料保管庫（稲WCS等）